

調査報告書サマリー

日本国内における OTC による FX 取引市場に関する調査

2006 年 11 月 1 日

OFFICE BUM

株式会社オフィス・バム

〒229-0013

神奈川県相模原市東大沼 4-14-12

TEL/FAX 050-3561-5956

E-Mail: info@office-bum.com

《調査レポートの発行にあたって》

倍々ゲームで拡大を続けてきた日本国内の OTC による FX 取引市場であるが、その成長速度が縮小傾向にあるものの、それでも依然として成長市場であることは間違いない。

見方を変えるならば、今までの伸びが異常とも思えるものであったのであって、各社知恵を競い合っただけの顧客獲得競争の結果による現在の状況は、企業にとっては競争ゆえの辛さもあるであろうが、業界としては非常に良い状態ではないかと考えている。

日本の FX 取引は、現在第 2 ステージを進行中である。

言うまでもなく第 1 ステージは、昨年夏までの法規制もなく、一部の事業者が「やりたい放題」に顧客を勧誘し社会問題ともなっていた、いわば業界にとっての「暗黒時代」である。現在の第 2 ステージの状況は、FX 取引が登録された事業者により行われるようになり、ようやく一部の投資家をはじめとする人々に受け入れられる金融商品となった状態である。

現在は金融庁への登録制となっている事業許可であるが、この制度が近い将来変更される可能性がある。現実的に現制度では金融庁で現在の企業数の管理を行うのは無理という声が多数聞かれており、分別管理や資産状況のチェックなど、いわば FX 取引を実施する事業者としての必要最低限の事項であったこのハードルが上げられる可能性がある。もちろんこれは推測（あるいは予想）の域を出るものではないが、そのハードルは「信託保全を行っているか否か」であるといわれている。

今回のこのレポートは、現在の法体制のまま進行するという前提で作成を行ったが、今後上記のような関係省庁による規制強化などが行われた場合、業界の勢力図が大きく変化する可能性がある。

このレポートが現在の競争、そして来るべき第 3 ステージに備えた各社の戦略の一助になれば幸いである。

2006 年 11 月 1 日

株式会社オフィス・バム
千葉友栄

OFFICE BUM

今回の調査対象となるFX取引実施企業

商品取引員	証券会社・短資会社	独立系	
ai 明治FX (明治物産)	安藤証券	121BANK	
FXクリエイト (新日本商品)	イー・トレード証券	AFT	
SBIフューチャーズ	岩井証券	FXA証券	
US証券	ウツミ屋証券	FXCMジャパン	
アイビックジェイピードットコム	エイチ・エス証券 (HIS)	FXプライム (伊藤忠商事)	
アクロスFX (日本アクロス)	オリックス証券	MJ	
朝日ユニバーサルFX	コスモ証券	PhillipFinancials	
アスカFX (アスカフューチャーズ)	GMOインターネット証券	アーク・アセット・マネジメント	
アテナFX (コムテックス)	ジェット証券	アドバンテックス	
入や萬成証券	大和証券	アセットプラスワン	
エース交易	東海東京証券	アルファエフエックス	
エクセルトレード (大洗HD)	トレイダーズ証券	イーストヒルジャパン	
岡地	日興コーディアル証券	インタープラスト	
オクトキュービク	日産証券	インフォレックス・ジャパン	
外為アルフィックス (アルフィックス)	日本協栄証券	エフエックス・オンライン・ジャパン	
カネツGKGoh (カネツ商事)	ひまわり証券	エフエックス札幌	
クレストフューチャーズ	松井証券	大阪為替倶楽部	
コメックス (米常商事)	マネックス証券	オービット・キャピタル・マネジメント	
サン・キャピタル・マネジメント	ミスター証券	外為どっとコム	
三貴商事	豊証券	カカクコム・フィナンシャル	
スターアセット証券	ユナイテッドワールド証券	キャピタル・マーケット・サービシズ	
センチュリー証券 (日本ユニコム)	ライブドア証券 (livedoor)	国泰キャピタル	
第一商品	楽天証券 (楽天)	サザインベストメント	
タイコム証券	リライアンス・ジャパン証券	サイバーエージェントFX	
大平洋物産	リテラ・クリア証券	ジェイ・エヌ・エス	
東京コムウェル	上田ハーロー	ダイナス・インベストメント・パートナーズ	
東陽レックス	セントラル短資オンライントレード	パフォーマンスキャピタル	
トリフォレックス (トリフォ)	トウキョウフォレックス	バンカーズ	
トレックス	上記28社	ヒロセ通商	
日夢 (ジャイコム)		フォーチュン・キャピタル	
日本ファースト証券		フォーランドフォレックス	
日本ユニコム		フォレックスクラウン	
ハーベストフューチャーズ		ベルフォードキャピタルマネジメント	
パンタ・レイ証券 (アイメックス)		マネースクウェア・ジャパン	
フェニックス証券 (小林洋行)		マネーパートナーズ	
北辰物産		ワールドインテリジェンス	
三井物産フューチャーズ		ワカバヤシエフエックスアソシエイツ	
三菱商事フューチャーズ証券		上記37社	
豊商事			
ライブドアコモディティ		銀行	
上記40社		JNB	
		上記1社	

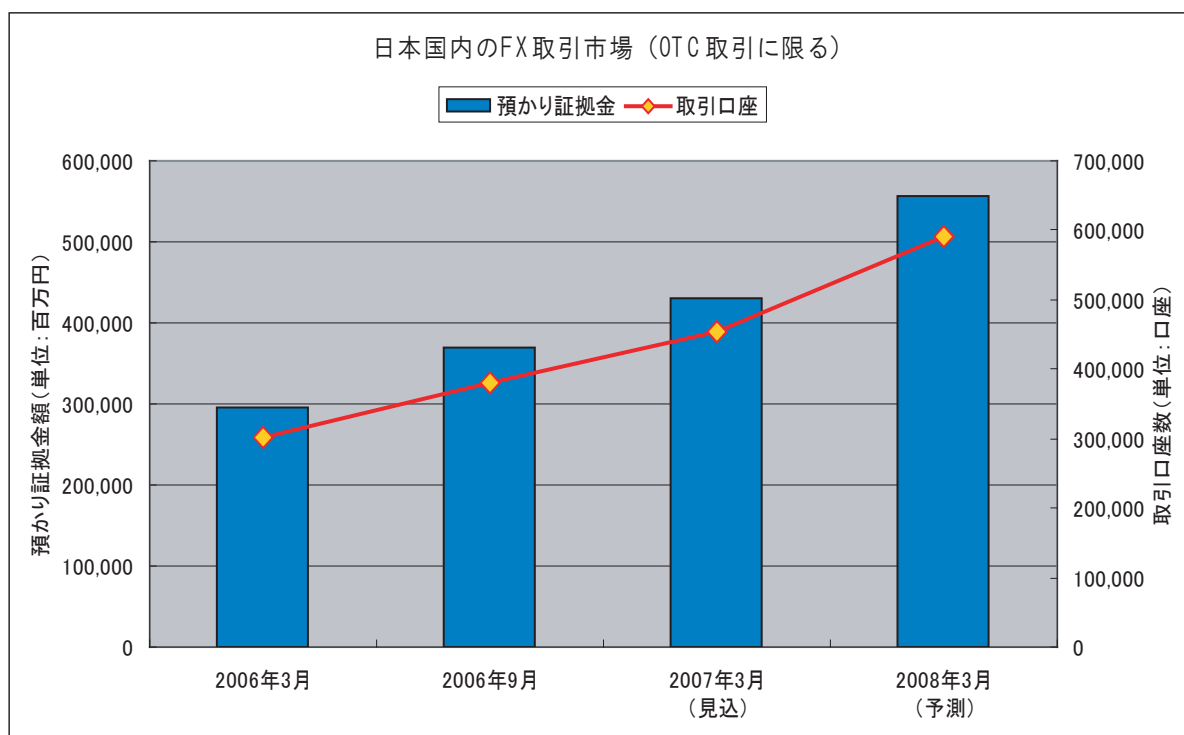
合計106社

OFFICE BUM

日本国内のOTCによるFX取引市場に関する調査 サマリー

○2006年9月における日本国内のOTCによるFX取引の市場規模は、預かり証拠金が約3,688億円、取引口座数は約38万口座。

○市場の成長は続くが、法規制の強化も予想され、先行きは不透明な部分も。



2006年9月における日本国内のOTCによるFX取引の市場規模は、取引口座数約38万口座、委託者からの預かり証拠金が約3,688億円と推測される。

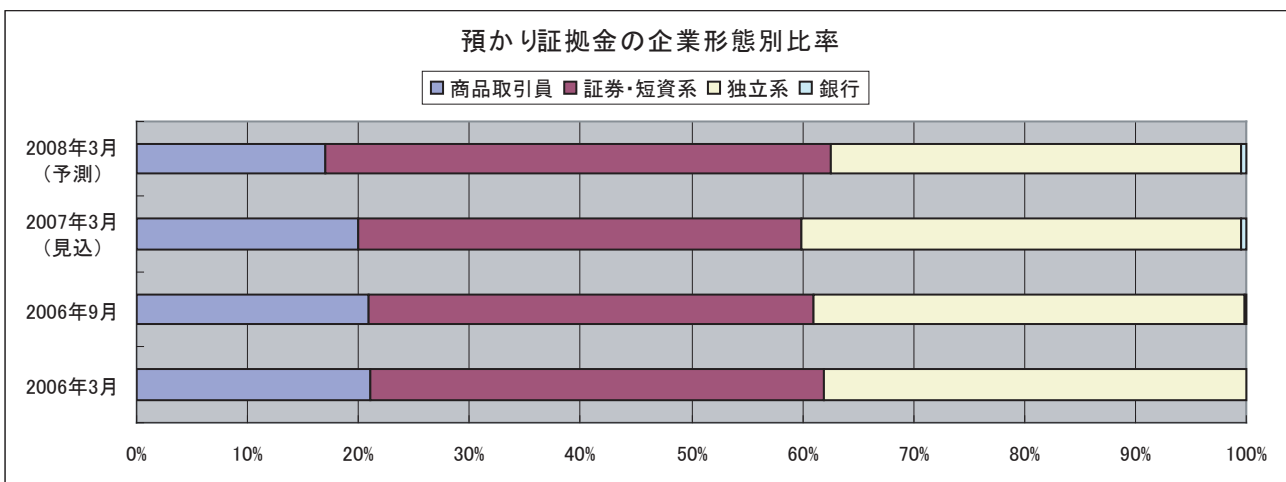
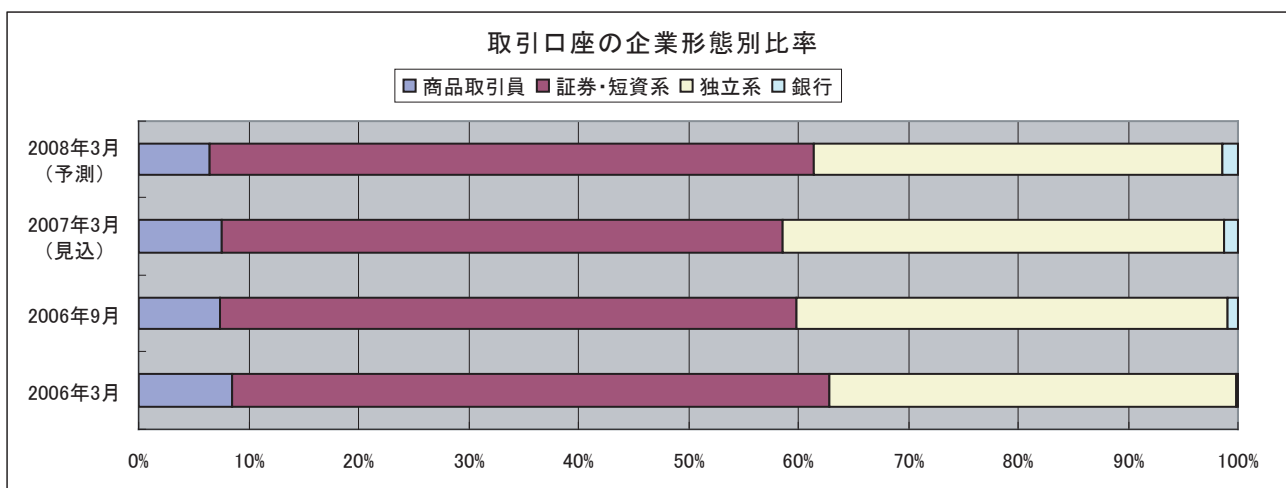
口座数に関しては、FX取引上級者を中心に複数保有していたり、稼動していない口座もあると思われるので、実際の稼動口座数は30万口座程度と思われる。

OFFICE BUM

*We are the "Ring", between
Company and Investor.*

企業形態別のポイント

- 独立系：「外為どっとコム」の独壇場。「マネーパートナーズ」「FXCM」が続く。
大手と中小の規模格差がさらに拡大。
- 証券・短資系：群雄割拠。「松井証券」「ひまわり証券」「イトレード証券」「オリックス証券」「楽天証券」らの大手に短資会社系FXが迫る。中規模証券会社も勢力を拡大。
- 商品取引員：「日本ユニコム」「三貴商事」「第一商品」に「エース交易」が続く。



※企業形態についてはTRADER-JapanのFX取引実施企業を参照のこと。

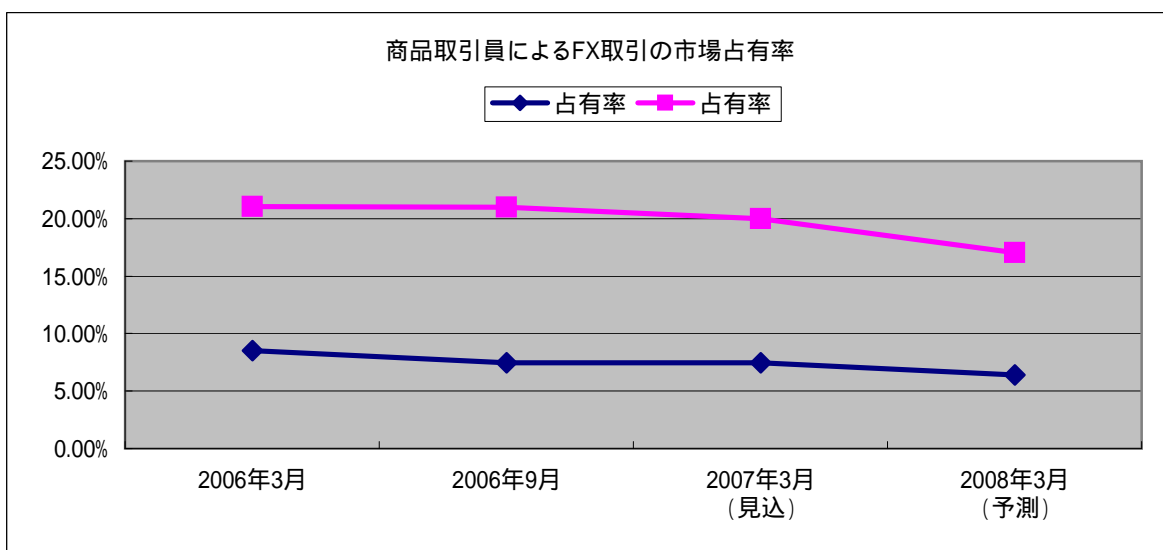
OFFICE BUM

We are the "Ring", between
Company and Investor.

2. 商品取引員

1) データ

	2006年3月	2006年9月	2007年3月 (見込)	2008年3月 (予測)
口座数	25,860	28,370	33,920	37,870
占有率	8.53%	7.47%	7.48%	6.42%
証拠金	62,430	77,395	86,115	95,110
占有率	21.05%	20.98%	20.01%	17.07%



上位5社の市場占有率(商品取引員上位5社/商品取引員全体)

口座数

単位: 口座

	2006年3月	2006年9月	2007年3月(見込)	2008年3月(予測)
全体	25,860	28,370	33,920	37,870
上位5社	21,300	23,200	28,000	32,200
占有率	82.37%	81.78%	82.55%	85.03%

預かり証拠金

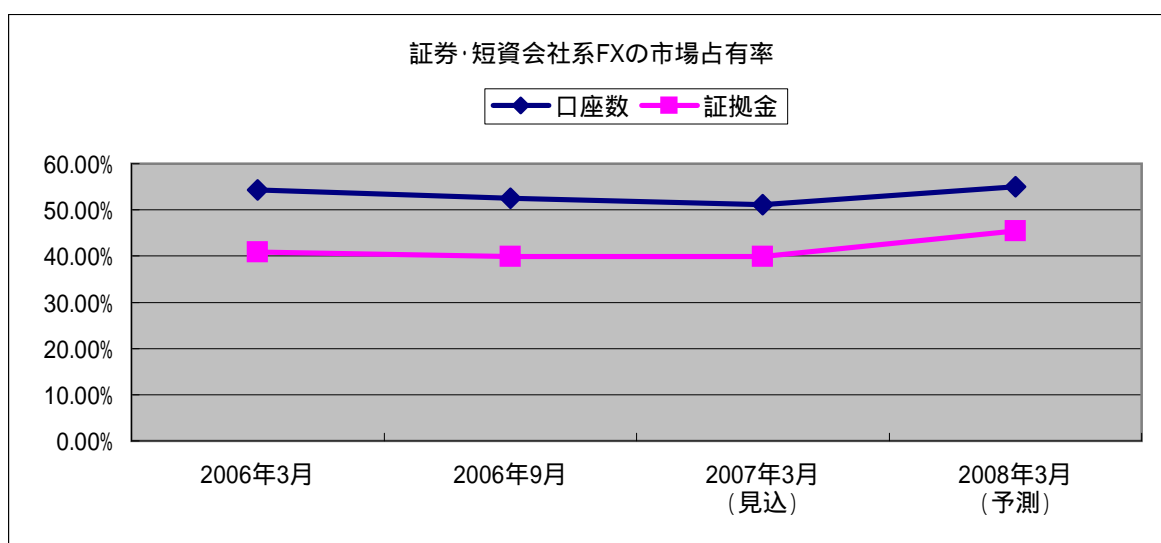
単位: 百万円

	2006年3月	2006年9月	2007年3月(見込)	2008年3月(予測)
全体	62,430	77,395	86,115	95,110
上位5社	54,700	68,700	76,400	86,500
占有率	87.62%	88.77%	88.72%	90.95%

3.証券会社・短資会社

1)データ

	2006年3月	2006年9月	2007年3月 (見込)	2008年3月 (予測)
口座数	164,450	199,300	231,760	324,600
占有率	54.28%	52.45%	51.13%	55.01%
証拠金	121,160	147,425	171,920	253,670
占有率	40.86%	39.97%	39.95%	45.52%



上位5社の市場占有率(証券・短資系上位5社/証券・短資系全体)

口座数

単位:口座

	2006年3月	2006年9月	2007年3月(見込)	2008年3月(予測)
全体	164,450	199,300	231,760	324,600
上位5社	132,500	154,000	172,000	225,000
占有率	80.57%	77.27%	74.21%	69.32%

預かり証拠金

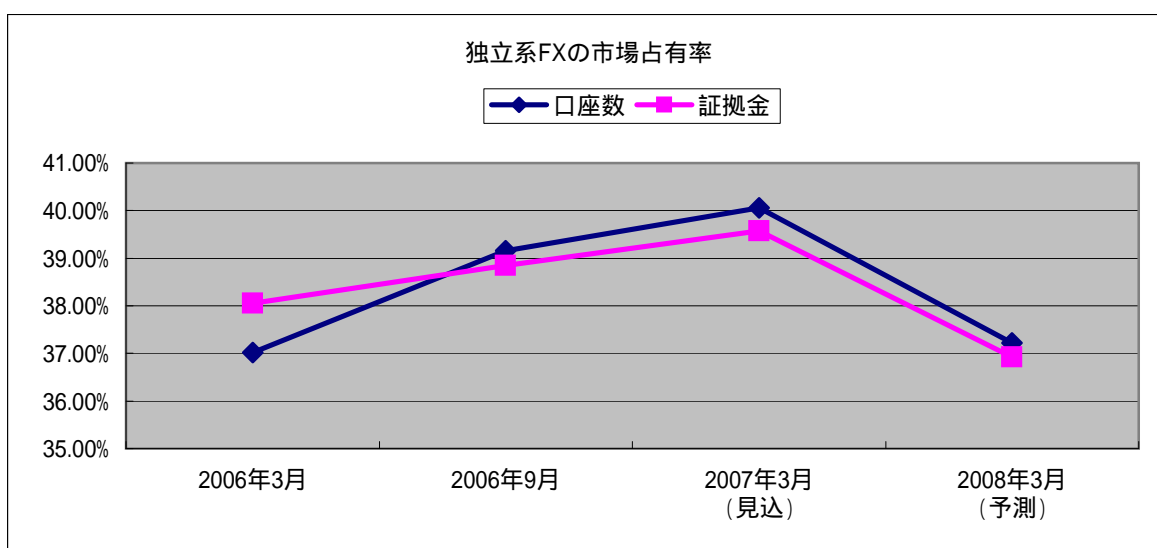
単位:百万円

	2006年3月	2006年9月	2007年3月(見込)	2008年3月(予測)
全体	121,160	147,425	171,920	253,670
上位5社	86,000	101,500	109,000	159,500
占有率	70.98%	68.85%	63.40%	62.88%

4. 独立系

1) データ

	2006年3月	2006年9月	2007年3月 (見込)	2008年3月 (予測)
口座数	111,730	148,320	181,030	219,180
占有率	37.02%	39.16%	40.06%	37.21%
証拠金	111,650	141,870	168,745	204,770
占有率	38.06%	38.85%	39.58%	36.92%



上位3社の市場占有率(独立系上位3社/独立系全体)

口座数

単位: 口座

	2006年3月	2006年9月	2007年3月(見込)	2008年3月(予測)
全体	111,730	148,320	181,030	219,180
上位3社	85,500	117,500	148,500	188,000
占有率	76.52%	79.22%	82.03%	85.77%

預かり証拠金

単位: 百万円

	2006年3月	2006年9月	2007年3月(見込)	2008年3月(予測)
全体	111,650	141,870	168,745	204,770
上位3社	67,000	96,000	125,000	165,000
占有率	60.01%	67.67%	74.08%	80.58%